

## 過労死防止学会 第10回大会 プログラム

・2024年8月31日・9月1日・9月23日

・オンライン開催

## 第1日[8月31日(土)] 午前部

## 第3分科会 航空産業における労働実態と疲労リスク 司会:生井良江

Tさんの労災棄却の問題点と日本の客室乗務員の現状、及び、組合員の増加の教訓

酒井三枝子 NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事長

『コロナ禍』以降における、航空労働者の労働実態変化と課題

奥平 隆 NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」副理事長

客室乗務員の保安任務遂行に求められる疲労リスク管理 【2024年1月2日羽田事故の教訓から】

生井良江 NPO法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事

## 第1日[8月31日(土)] 午後部

## 特別企画 過労死防止学会活動のこれまでとこれから 座長:長井偉訓 討論者:粥川裕平 黒田兼一

記念講演:過労死研究のこれまでとこれから 一原点に立ち戻って一 川人 博

## パネルディスカッション

産業医学・公衆衛生学からの過労死研究のこれまでとこれから 天笠 崇

啓発授業10年間の取組みとこれから 一神奈川県を取組を通して一 工藤祥子

“過労死家族の会”と学会活動との関わりについて 寺西笑子

日本を「反面教師」に過労死予防を目指す韓国の動向 脇田 滋

『過労死防止学会誌』これまで と これから 高田好章

## ◇会員総会

## 第2日[9月1日(日)] 午前部

## 第5分科会 建設業の労働・労災問題 司会:松浦洋一郎

Tさんの建設労働問題概要〈問題提起〉

市村昌利 特定非営利法人建設政策研究所専務理事

・駒澤大学講師

建設業のアスベスト問題

澤田鉄平 桃山学院大学経済学部准教授

一人親方の長時間就業と「働き方改革」

柴田徹平 岩手県立大学社会福祉学部講師



## 第7分科会 芸術・芸能分野の過重労働やハラスメントの実態と課題解決の方向性 司会:森崎めぐみ

フリーランス芸能従事者の就業実態と人権

森崎めぐみ 俳優、一般社団法人日本芸能従事者協会 代表理事

芸能従事者の過重労働とハラスメントの実態

匿名 (被害の当事者)

芸能制作現場の課題解決のためのインティマシーコーディネーター

浅田智穂 インティマシーコーディネーター、株式会社Bianket 代表取締役

・総合討論登壇者 村上陽子 日本労働組合連合総連合会 副事務局長

黒田兼一 明治大学名誉教授

第2日[9月1日(日)] 午後の部

共通論題 物流の「2024年問題」と働き方改革の課題～過労死等防止の視点から

座長:清山 玲 討論者:川村雅則 渡部あさみ

“物流の2024年問題”をどう捉えるか? トラック運送業の現状と課題

矢野裕児 流通経済大学 流通情報学部 教授

トラックドライバーの不規則勤務の健康影響と対策の方向性

松元 俊 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 主任研究員

長距離トラックドライバーの過労死事案の教訓 ～2024年の法規制強化で過労死はなくせるか～

岩城穰・弁護士 井上将宏・弁護士 中西翔太郎・弁護士

トラック運転者の「過労死」防止に向けて ―「物流の2024年問題」によせて

芦崎光夫 全日本建設交運一般労働組合関西支部 特別執行委員

第3日[9月23日(祝・月)] 午前の部

第1分科会 [自由論題] 司会:井上千一

医師の働き方改革とポスト地域医療構想

田中與念子 社会福祉士、基礎経済科学研究所所員

医師の働き方改革開始後の現状について

土谷良樹 東京勤労者医療会 東葛病院 内科部長



第3日[9月23日(祝・月)] 午後の部

第2分科会 [自由論題] 司会:田中明彦

社会保険労務士がとりくむ過労死防止活動 ―過労死防止法制定後、10年連続で講演会を開催

喜多裕明 社会保険労務士、大阪府社会保険労務士会安全・衛生自主研究会代表幹事

家事労働者過労死問題と取り組みの意義

佐藤 学 総合サポートユニオン



第4分科会 [自由論題] 司会:玉木一成

過労死防止と労働人権法

寺内宏伸 労働法論文翻訳者、元労働基準監督官

平均的労働者論の誤謬

粥川裕平 かゆかわクリニック・名古屋工業大学名誉教授

※第10回大会は、8月31日・9月1日に「大阪経済大学 大隅キャンパス」を会場に予定していました。しかし、台風10号の接近で大学の会場が使用できなくなり、オンラインのみで開催することとなり、急きょプログラムを組み替え、日程を9月23日を加えた3日間で行いました。なお、予定していた第6分科会は、事情により延期しました。